

科目名		人間発達学					授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期	1年	前期	
【授業の目的・ねらい】 人間の生涯に渡る発達を理解し評価・治療の基礎を学ぶ。											
【実務者経験】											
【授業全体の内容の概要】 人間の生涯に渡る身体的発達、認知的発達、情緒的・社会的発達、運動発達について学び、各発達との関連性を認識する。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 発達理論による生涯発達の把握。運動発達は発達段階と特徴を原始反射・姿勢反射と関係つけて覚える。											
回数	講義内容								準備物(教材)		
1	発達と発達理論										
2	出生前発達と出生										
3	運動発達（0～6ヶ月）、原始反射										
4	運動発達（7ヶ月～12ヶ月）、姿勢反射										
5	運動発達（12ヶ月～）										
6	認知的・情緒的・社会的発達①										
7	認知的・情緒的・社会的発達②										
8	乳幼児期の発達評価とまとめ										
定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 生涯人間発達学（上田礼子）三輪書店											
【準備学習・時間外学習】 小児科学や発達障害治療学とも関連が高いので、しっかり復習しておくこと。また、この科目での国家試験範囲としては毎年度1問程度であるが、発達過程については評価学での問題として出題されることから、習熟しておくことを望む。											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 小テストを10点、課題の評価を20点、定期試験を70点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。											